

いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンの取組について（概要）

I 地域経済の活性化（圏域全体の経済成長のけん引）

① 事業者の経営力強化事業

（令和 6 年度決算額 51,809 千円，令和 7 年度予算額 55,200 千円）

○ 令和 6 年度実績

産業活性化コーディネーターについて，従来の配置に加えて新たに水戸市，笠間市・城里町，小美玉市・茨城町・大洗町にそれぞれ 1 名ずつ配置し，国・県・市町村補助制度の活用や企業間マッチング，人材確保，経営相談などに関する事業者支援を実施した（企業支援件数 737 件）。

○ 令和 7 年度以降の計画

産業活性化コーディネーターを水戸市，笠間市・城里町，小美玉市・茨城町・大洗町にそれぞれ 1 名ずつ配置し，事業者支援を実施する。

② 先進的農業実践人材の育成事業

（令和 6 年度決算額 500 千円，令和 7 年度予算額 500 千円）

(1) ドローンを活用した水稻直播実証実験

○ 令和 6 年度実績

- ・ ドローンを活用した水稻直播の実証実験を実施した（実証ほ場：水戸市，笠間市，茨城町）。
- ・ ドローンによる播種の際にはスマート農業に興味がある農業者や関係機関等を対象に見学会を開催した（参加者：水戸市 40 名，笠間市 26 名，茨城町 28 名）。
- ・ 事業の進捗や成果に関する情報発信を行った（水戸市 H P，農業者向けの会報等）。
- ・ 実施結果としては，収量が水戸市 290.3kg/10a（基準値：540kg/10a），笠間市 231kg/10a（基準値：512kg/10a），茨城町 351.7kg/10a（基準値：546kg/10a）であり，基準値と比較すると大きく下回ってしまった。減収の主な原因として，カメムシによる被害が考えられ，また晩生品種を遅い時期に播種したことから，地域の主力品種「コシヒカリ」よりも出穂が遅かったため，カメムシが集中してしまい被害を更に助長させたものと考えられる。

○ 令和 7 年度以降の計画

同様の事業をひたちなか市，東海村，城里町で実施しつつ，実証が成功（増収）するよう改善する。改善策として，病虫害防除の回数を 1 回から 2 回に変更することに加え，早生品種かつ高温耐性をもつ「夢あおば」を採用し，播種から収穫までの全体スケジュールを令和 6 年度より前倒しすることとする。なお，令和 8 年度は同様の事業を那珂市，小美玉市，大洗町で実施する予定である。



③ 地場産品の販路拡大とブランディング事業

（令和 6 年度決算額 621 千円，令和 7 年度予算額 3,000 千円）

(1) 地場産品 P R カタログの配布

○ 令和 6 年度実績

令和 4 年度に作成した地場産品 P R カタログを，圏域内のスーパーのバイヤー，飲食店等に配布した（配布部数：2,217 冊）。

○ 令和 7 年度以降の計画

PR カタログの効果的な活用方法を検討し，地場産品の販路拡大を推進していく。

(2) 地場産品の産業祭等への出店

○ 令和 6 年度実績

- ・ 各市町村において自らの産業祭等へ出店し，P R を行った。
- ・ イオンモール水戸内原で「いばらき県央特産品フェア 2025」を開催した。

○ 令和 7 年度以降の計画

- ・ 産業祭等への出店
- ・ 2 月頃，イオンモール水戸内原で「いばらき県央特産品フェア 2026」を開催予定

(3) 地場産品を使った新メニューの提供促進

○ 令和 6 年度実績

水戸京成ホテルと連携し，6 月から 2 月まで地場産品を使った新メニューの提供を行った。

○ 令和 7 年度以降の計画

- ・ 4 月から 3 月まで水戸京成ホテルにおいて、新メニューを提供予定
- ・ 地場産品を使用した新メニューの提供促進に向け、協力事業者の掘り起こし、調整を行う。

(4) ほしいもブランディングに係る取組

○ 令和 6 年度実績

- ・ J A L 機内誌への広告掲載を行った。
- ・ 「いばらき県央特産品フェア 2025」にて、ほしいもの販売及び P R を行った。

○ 令和 7 年度以降の計画

県のブランディングの取組状況等を踏まえ、事業のあり方を検討する。



④ 戦略的観光プロモーション事業

(令和 6 年度決算額 10,000 千円, 令和 7 年度予算額 10,000 千円)

(1) 情報発信ツールの活用

○ 令和 6 年度実績

- ・ 協議会専用 Instagram (以下「専用 Instagram」という。)において、メインターゲット (首都圏在住 20～30 歳代女性) を意識した統一感のある情報発信とともに、プレゼント付きアンケートキャンペーンを実施した。
- ・ 協議会専用ホームページ (以下「専用ホームページ」という。)において、9 市町村の観光情報を定期的に発信した。
- ・ 協議会で実施するキャンペーンや県央地域の観光案内所、市町村開催のイベント等において、広域観光ガイドブック「いばらき県央 あす旅手帖」を配布した。

○ 令和 7 年度以降の計画

ガイドブックや専用ホームページ、専用 Instagram において、メインターゲット (首都圏在住 20～30 歳代女性) を意識した観光情報の発信に取り組む。特に、専用 Instagram において、民間のノウハウを活用し、県央地域ならではの多彩な観光情報の発信に努める。

(2) メディアを活用したプロモーション

○ 令和6年度実績

県央地域の魅力を効果的に発信するため、読者層がメインターゲットと合致する女性向けライフスタイル誌『Hanako』11月号（9月28日（土）発売）に、県央地域の食材を生かしたメニューが味わえるカフェを巡る旅について掲載した。

○ 令和7年度以降の計画

県央地域への誘客、認知度向上に資する観光協議会事業を効果的に発信するため、様々な手法による広告出稿を行う。

(3) 観光キャンペーン実施

○ 令和6年度実績

朝日新聞社主催の「GOOD LIFE フェア 2024」に出展した。主催者が保有する顧客ID 580万件以上への事前プロモーションに加え、旅行会社等のビジネス来場者へプロモーションを行った。協議会ブースにおいては、イベント終了後のプロモーション等に活用可能な氏名、居住地、性別等の一般来場者のデータを取得したほか、オリジナルノベルティが当たるクイズの実施、ポスター掲示、動画放映、資料配布等による県央地域の観光プロモーションに取り組んだ。

▽GOOD LIFE フェア 2024

期 日 令和6年10月25日（金）～27日（日）

場 所 東京ビックサイト

内 容 Instagram フォローキャンペーン、オリジナルノベルティが当たるクイズ 等

○ 令和7年度以降の計画

県央地域の観光地としての認知度向上及び観光協議会事業を広くPRするため、観光キャンペーンを実施する。

(4) 宿泊予約サイト（OTA）の活用

○ 令和7年度以降の計画

県央地域への来訪意欲を高め、魅力や認知度の向上にもつなげるため、宿泊予約サイトに特集ページを掲載し、ホームページやSNS等と連動したプロモーションを展開する。

(5) 観光マーケティング調査の実施

○ 令和7年度以降の計画

観光マーケティング調査（観光動態調査及びWEB調査）を実施する。

⑤ 誘客と観光消費促進事業

(令和 6 年度決算額 10,000 千円, 令和 7 年度予算額 10,000 千円)

(1) 圏域内の周遊促進

○ 令和 6 年度実績

- ・ 令和 4 年度に、圏域内の誘客、周遊を促進するため、車の運転が苦手な方でも周遊できるよう作成した公共交通を活用したモデルコースのうち 2 コースを、県内で毎月 153,000 部配布されている情報マガジン『サクラサクライフ』の 10 月号(令和 6 年 9 月 25 日(水)配布)に掲載した。
- ・ 誘客や観光消費の増加を図るため、宿泊型の周遊ツアー等を、旅行事業者への委託により、販売・催行した。

① 宿泊ツアー(2 月 22 日(土)～23 日(日))

梅酒(梅シロップ)作り&ほしいも作り体験、日本三名園偕楽園「水戸の梅まつり」と茨城県央グルメ満喫大洗水族館「NIGHT AQUAWORLD」といちご狩り
参加者数 21 名

② 日帰りツアー(2 月 24 日(月・祝))

茨城空港見学&大洗水族館バックヤードツアー・那珂湊漁業協同組合×漁師料理づくり体験とシン・いばらきメシ総選挙 2024 スイーツ部門グランプリ受賞「ダイヤモンドラン」 参加者数 30 名

③ 日帰りツアー(3 月 1 日(土))

日本三名園偕楽園・第 129 回水戸の梅まつりと千波湖を一望できる「ときわ邸 M-GARDEN」にてランチ&「水戸市民会館」で和菓子作り体験 参加者数 29 名

○ 令和 7 年度以降の計画

誘客と周遊の促進を図るため、県央地域の特色を生かしたツアーやイベントを実施する。

(2) 物産イベントへの出展

○ 令和 6 年度実績

県央地域の特産品等の PR や認知度向上を図ることを目的として、『発酵』をテーマとした物産イベント「いばらき県央発酵フェア」を開催した。また、同フェア期間中には、納豆づくりワークショップを実施した。

▽いばらき県央発酵フェア

期 間 令和 7 年 1 月 27 日(月)～2 月 9 日(日)

会 場 発酵デパートメント(東京都世田谷区)

周 知 発酵デパートメント公式 HP, 公式 LINE アカウント等

売 上 119,104 円

○ 令和 7 年度以降の計画

県央地域の特産品等のPRや認知度向上を図ることを目的とした物産イベントを実施する。

(3) 体験プログラムの充実

○ 令和6年度実績

県央地域ならではの食資源や体験を取り入れたキャンプイベントを実施した。ピザ作りや飯ごう体験のほか、県央地域の食材を使ったオリジナルキャンプ飯のレシピを活用した「ホイル焼き体験」を実施した。イベントとあわせて、宿泊者には、はまぐりの酒蒸しを提供した。また、提灯づくりをはじめとしたワークショップや丸太切り、フォレストアドベンチャーなど、こどもから大人まで楽しめる体験ブースを設置したほか、9市町村の観光PRも行い、特産品や体験プログラムのPR、認知度向上とあわせて、観光消費の促進を図った。

▽あす旅キャンプフェス

期 間 令和6年11月23日（土）、24日（日）各日10:00～15:00

会 場 瀬沼自然公園キャンプ場

来場者 約3,700人（延べ）／うち宿泊者 約250人

○ 令和7年度以降の計画

県央地域ならではの体験の発掘及び磨き上げに取り組みながら、体験を取り入れたイベント等を行う。

※ ビジョンにおける「I 地域経済の活性化」の成果指標

		ビジョン策定時点の直近の値	2024(R6)年度末時点の直近の値	目標値
総生産	時点(年度)	2018(H30)	2022(R4)	2026(R8)
	値(百万円)	3,378,567	3,499,004	3,739,000
事業所の従事者数	時点(年)	2016(H28)	2021(R3)	2026(R8)
	値(人)	320,670	336,810	322,200
産業活性化コーディネーターが支援した企業等の支援件数	時点(年度)	2020(R2)	2024(R6)	2026(R8)
	値(件)	570	737	720
新規就農者数(45歳未満の者に限る。)	時点(年度)	2019(R1)	2023(R5)	2026(R8)
	値(人)	52	69	70
観光交流人口(観光入込客数)	時点(年)	2020(R2)	2023(R5)	2026(R8)
	値(人)	11,027,200	18,072,800	20,020,000

Ⅱ 都市機能の向上（高次の都市機能の集積・強化）

⑥ 周産期医療提供体制の維持・確保事業

（令和 6 年度決算額 20,000 千円，令和 7 年度予算額 20,000 千円）

○ 令和 6 年度実績

高度な周産期医療を安定的に提供できる体制の整備に向け，地域周産期母子医療センターの役割を担う水戸赤十字病院に対し，産婦人科医確保のための経費について財政支援を行った。

○ 令和 7 年度以降の計画

水戸赤十字病院に対し，産婦人科医確保のための経費について財政支援を行う。

⑦ 医師確保事業

（令和 6 年度決算額 0 千円，令和 7 年度予算額 50,000 千円）

○ 令和 6 年度実績

既存産婦人科医療機関より制度の活用に向けた相談があり，対応した。令和 7 年度に補助実施予定

○ 令和 7 年度以降の計画

医療機関開設等補助金の周知を図るとともに，利用促進に努める。

⑧ 広域的公共交通ネットワーク構築事業

（令和 6 年度決算額 0 千円，令和 7 年度予算額 640 千円）

(1) 検討会議の開催

○ 令和 6 年度実績

- ・ 全体会議の開催 1 回（令和 7 年度連携事業について）
- ・ 担当者間協議の開催 1 回（路線バス「石塚・内原線」について）

○ 令和 7 年度以降の計画

全体会議，分科会及び担当者間協議の開催

(2) MaaS との連携や新たな技術を活用した公共交通の導入

○ 令和 6 年度実績

- ・ アフターDC の開催にあわせ、JR 水戸支社が展開する MaaS「ひたちのくに紀行」と連携し、水戸市及び構成 3 市町（笠間市、ひたちなか市及び大洗町）で利用可能な公共交通機関や観光施設等の電子チケットを販売した。
- ・ ひたちのくに紀行の利用促進を図るため、JR 水戸支社と 9 市町村が連携したデジタルスタンプラリーを継続実施した。

○ 令和 7 年度以降の計画

- ・ JR 水戸支社と 9 市町村で連携して事業を実施する。
- ・ 先進的な技術を交通分野で活用している地域への視察を実施する。



⑨ 広域的公共交通の利用促進事業

（令和 6 年度決算額 151 千円、令和 7 年度予算額 330 千円）

○ 令和 6 年度実績

エコ通勤チャレンジウィークを、6 月及び 12 月にそれぞれ 7 日間実施した。

○ 令和 7 年度以降の計画

エコ通勤チャレンジウィークの実施（年 2 回予定）

⑩ 大学との連携推進事業

（令和 6 年度決算額 96 千円、令和 7 年度予算額 100 千円）

(1) 若い世代のまちづくり調査・研究事業

○ 令和 6 年度実績

圏域に所在する高校及び大学の生徒・学生に対するアンケートを実施するとともに、アンケート結果について、茨城大学及び常磐大学の担当教員に簡易的な分析を依頼し、報告を受けた。

【回答数】高校生：6,944 件／大学生：404 件

○ 令和 7 年度以降の計画

令和 8 年度まで毎年，高校生及び大学生に対するアンケート調査を実施し，分析結果の報告を受ける。

(2) 連携促進事業

○ 令和 6 年度実績

事業内容の検討

○ 令和 7 年度以降の計画

若い世代のまちづくり調査・研究事業の進捗状況を踏まえながら，構成市町村担当者と各大学の地域連携担当者との意見交換を実施する。

⑪ ICT によるまちづくり推進事業

(令和 6 年度決算額 3,218 千円，令和 7 年度予算額 10,200 千円)

(1) 職員人材育成研修会

○ 令和 6 年度実績

デジタルを活用したまちづくり，3D 都市モデル等について学ぶ研修会「DX 人材育成特別セミナー デジタルによるコミュニティづくり」を 2 月 20 日(木)に開催した(参加：9 市町村職員 28 名)。

○ 令和 7 年度以降の計画

職員の ICT にかかる知識・スキルの向上に向けた研修会等を年 1 回程度開催していく。

(2) ICT を活用した住民サービスの向上

○ 令和 6 年度実績

県央地域の魅力向上・周遊性の強化を図るため，水戸市で運用していた AI を活用したイベント情報集約サイトを広域化し，「いばらき県央地域イベント情報集約サイト」として構築した。

○ 令和 7 年度以降の計画

9 市町村で連携してイベント情報集約サイトの運用を図るほか，住民サービス向上に資する事業を検討していく。



※ ビジョンにおける「Ⅱ 都市機能の向上」の成果指標

		ビジョン策定時 点の直近の値	2024(R6)年度末 時点の直近の値	目標値
総合周産期母子医療センター及び 地域周産期母子医療センター数	時点(年度)	2021(R3)	2024(R6)	2026(R8)
	値(箇所)	2	2	2
医師数	時点(年)	2018(H30)	2022(R4)	2026(R8)
	値(人)	1,385	1,473	1,470
広域的公共交通ネットワーク等に 係る社会実験の取組件数(累計)	時点(年度)	2021(R3)	2023(R5)	2026(R8)
	値(件)	－	－	2
大学と連携した調査・研究の取組 件数(累計)	時点(年度)	2021(R3)	2024(R6)	2026(R8)
	値(件)	－	1	2
ICTを活用した社会実験の取組件 数(累計)	時点(年度)	2021(R3)	2024(R6)	2026(R8)
	値(件)	－	1	2

Ⅲ 生活環境の充実（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

⑫ 救急医療情報等発信事業

（令和 6 年度決算額 105 千円，令和 7 年度予算額 180 千円）

(1) 小児医療セミナーの開催

○ 令和 6 年度実績

未就学児の保護者を対象に，こどもの急な病気やケガへの対応方法のほか，新興・再興感染症について学ぶことのできるセミナーを開催した（18 組 43 人（うち大人 28 人）参加）。また，同セミナーの内容については，当日参加できなかった保護者も視聴できるよう，後日，インターネット上で動画を配信した。

○ 令和 7 年度以降の計画

会場を各市町村に移して健康セミナーを開催する。

(2) 適正受診等の周知

○ 令和 6 年度実績

休日・夜間の不要・不急な受診や救急車の適正利用などの適正受診のほか，かかりつけ医を持つことの利点などについて，市町村広報紙や茨城県救急電話相談の広報ポスター等で周知した。また，茨城県が新たに取り組んでいる，救急搬送時における選定療養費の取扱いについても，あわせて周知した。

○ 令和 7 年度以降の計画

医療機関や救急車の適正な利用を促すため，情報発信を行う。

(3) GW 等の診療体制の周知

○ 令和 6 年度実績

ゴールデンウィーク，お盆及び年末年始における圏域の初期救急医療機関の診療体制の情報発信を行った。

○ 令和 7 年度以降の計画

長期休暇期間中においても，圏域住民が安心して医療機関を受診できるよう，情報発信を行う。

⑬ 初期救急医療提供体制維持・確保事業

（令和 6 年度決算額 73,322 千円，令和 7 年度予算額 60,068 千円）

○ 令和 6 年度実績

水戸市休日夜間緊急診療所への財政支援を実施し、休日や夜間における診療体制を維持することで、圏域住民が安心して、医療機関を受診できる医療提供体制を確保した。

○ 令和7年度以降の計画

水戸市休日夜間緊急診療所への財政支援を継続し、初期救急医療提供体制の維持・確保を図る。

⑭ 看護師等確保事業

(令和6年度決算額 249千円, 令和7年度予算額 310千円)

(1) 茨城県看護協会の復職支援に関する事業の周知

○ 令和6年度実績

茨城県看護協会が実施する看護職再就業支援研修について、SNS等により周知を行った。

○ 令和7年度以降の計画

茨城県看護協会が実施する復職支援に関する事業等の周知に取り組む。

(2) 病院見学ツアー等

○ 令和6年度実績

- ・ 水戸市産業祭にて、茨城県看護協会のブースを出展し、看護を体験し、学べるイベント等を実施し、茨城県看護協会が行う各種事業や看護職の魅力の発信等に取り組んだ。
- ・ 水戸市医師会看護専門学院において、看護職に興味のある中高生や社会人向けに看護職の仕事を体験できるセミナー及び看護職向けに復職支援や実技のスキルアップを目的としたセミナーを開催した。また、将来、圏域内の医療機関等への勤務を希望する受験生を対象に、同学院が実施する特定市町村推薦入試について、募集を行った。

○ 令和7年度以降の計画

看護職確保のため、茨城県看護協会や水戸市医師会看護専門学院などと連携し、潜在看護師の復職を支援するとともに、広く一般の方を対象に、看護職を体験し、学べるイベントを実施する。

⑮ 未来の医療人材育成事業

(令和6年度決算額 111千円, 令和7年度予算額 120千円)

○ 令和6年度実績

医療への興味・関心を高め、未来の医療人材につなげていくことを目的に、水戸赤十字病院において、小・中学生を対象とした病院体験ツアーを実施した。

○ 令和7年度以降の計画

小・中学生が実際の医療現場や医療の状況に触れ、職業としての医療への興味・関心を高める取組を実施する。

⑯ ICTを活用した健康づくり事業

(令和6年度決算額 577千円, 令和7年度予算額 829千円)

(1) 茨城県央地域ウエルネス推進協議会の開催

○ 令和6年度実績

- ・ 有識者の委員18名で構成する茨城県央地域ウエルネス推進協議会において、圏域の健康課題を整理し、令和6年度に社会実験を連携して行う企業を選定した。

○ 令和7年度以降の計画

茨城県央地域ウエルネス推進協議会を開催し、令和6年度に実施した社会実験の報告と、令和7年度に実施する社会実験について協議する。

(2) ICTを活用した健康づくりに係る社会実験の実施

○ 令和6年度実績

圏域において3件(WELL BE CHECK, 足の健康診断, AI歯科検査)の社会実験を行った。

足の健康診断及びAI歯科検査についてはアンケートを実施し、前者は約98%の方が「足に興味を持つきっかけとなった」と回答し、満足度も非常に高い結果となった。後者においては、約94%の方が「家族や友人に勧めたい」、「(今回の内容が)セルフケアにつながる」と回答した。

【実施概要(参加者人数)】

WELL BE CHECK (1,051人): LINEのアプリを使って健康状態を数値化する。

足の健康診断 (100人): 専門家による足の状態チェックとアドバイスを行う。

AI歯科検査 (81人): 口腔内の状態をAIによる判定のもと検査し、口腔ケアのアドバイスを行う。

○ 令和7年度以降の計画

新たに社会実験を実施し、今後実装する事業の検討を進める。



⑪ 成年後見制度利用促進事業

(令和 6 年度決算額 30,722 千円, 令和 7 年度予算額 24,093 千円)

(1) 普及啓発 (パンフレット等の作成・配布, 学習会開催等)

○ 令和 6 年度実績

- ・ パンフレット 9,000 部及びリーフレット 9,500 枚を作成し, 連携市町村の窓口への配置, 金融機関, 医療機関等への配布を行った。
- ・ 権利擁護サポートセンターだよりの発行 (1 回) や, 各市町村発行の広報誌, 水戸市社会福祉協議会ホームページ等で情報発信を行った。
- ・ 市民向け学習会 (1 回), 専門職向け学習会 (2 回) を行った。

○ 令和 7 年度以降の計画

圏域内イベントでのパンフレット等の配布及び学習会の開催等を通じて, 成年後見制度の普及啓発活動を推進していく。

(2) 相談支援

○ 令和 6 年度実績

成年後見制度の利用に関する相談を行った (2,076 件のうち新規 101 件)。

○ 令和 7 年度以降の計画

権利擁護サポートセンターを中心とした地域ネットワークを生かした相談支援体制を維持していく。

(3) 利用促進「受任候補者調整等の支援」

○ 令和 6 年度実績

- ・ 被後見人の受任者候補マッチング会議を開催した。
- ・ 市民後見人候補者等への支援を行うとともに, 家庭裁判所との連携を図った。

○ 令和 7 年度以降の計画

上記取組を継続する。

(4) 利用促進「市民後見人及び後見業務受託法人の育成・支援」

○ 令和6年度実績

- ・ 市民後見人養成講座フォローアップ研修（10/2，3/3）を実施した。
- ・ 市民後見人養成講座修了生が，生活支援員，後見支援員，成年後見サポーターとして活動したほか，地域ケア会議等にも参加した。

○ 令和7年度以降の計画

市民後見人及び法人後見受託法人の育成・支援を図り，成年後見人の成り手を拡充する。

(5) 利用促進「法人後見の受任」

○ 令和6年度実績

権利擁護サポートセンターが法人後見として28件を受任した。

○ 令和7年度以降の計画

社会福祉士会等の専門職の抱える件数が増えているため，専門職団体と協議し，法人後見への受任移行を促進する。

(6) 利用促進「市町村実務担当者向け研修会開催等」

○ 令和6年度実績

成年後見制度の申立てに係る研修会を開催した（6月）。

○ 令和7年度以降の計画

上記取組を継続する。

(7) 親族後見人に対する相談支援等

○ 令和6年度実績

- ・ 親族後見人の相談支援を行った（18件）。
- ・ 親族後見人向け相談会を実施した（圏域内9会場）。
- ・ 親族後見人向けチラシを作成，配布した。

○ 令和7年度以降の計画

親族後見人の相談会の実施，チラシの配布等による支援を継続する。

(8) 広域中核機関の共同設置・運営

○ 令和6年度実績

- ・ 広域中核機関である水戸市及び水戸市社協において，地域連携ネットワーク協議会の運営，各市町村中核機関との連携，支援を行った。
- ・ 圏域市町村による成年後見制度担当部署会議を開催した（6月，12月）

○ 令和7年度以降の計画

上記取組を継続，推進する。

⑱ 芸術・文化教育の推進事業

(令和 6 年度決算額 4,833 千円, 令和 7 年度予算額 4,863 千円)

(1) 各市町村の芸術・文化イベント情報共有

○ 令和 6 年度実績

ポスター・チラシを各市町村へ配布し、情報共有を図った。

○ 令和 7 年度以降の計画

ポスター・チラシの送付, 広報誌・SNS での情報発信, ホームページへのイベント情報の掲載を行っていく。

(2) 水戸芸術館と連携した事業の実施

○ 令和 6 年度実績

令和 6 年度「子どものための音楽会」を実施した。

○ 令和 7 年度以降の計画

令和 7 年度「子どものための音楽会」を実施する。それ以降も事業を継続する。



⑲ プロスポーツ等による地域活性化事業

(令和 6 年度年度決算額 933 千円, 令和 7 年度予算額 1,300 千円)

○ 令和 6 年度実績

第 3 回いばらき県央地域スポーツフェスティバルを 10 月 20 日になか LuckyFM 公園で開催し, プロスポーツチーム等による体験教室 (5 種目 179 人参加) とサブコンテンツ (5 種目 503 人参加) を実施した。

○ 令和 7 年度以降の計画

第 4 回いばらき県央地域スポーツフェスティバルを 9 月 21 日 (日) にタスパジャパニミートパーク (小美玉市玉里運動公園) で開催予定



②⑩ 公の施設の広域利用促進事業

(令和 6 年度決算額 229 千円, 令和 7 年度予算額 500 千円)

(1) いばらき県央地域ガイドホームページの運営

○ 令和 6 年度実績

住民へ周知するためのホームページを運営し、広域利用が可能な公共施設や県央地域の相互参加可能なイベント等を掲載した。

○ 令和 7 年度以降の計画

- ・ 上記取組を継続する。
- ・ 各市町村のホームページ内へのリンク設定や、ホームページの紹介記事を SNS 等で発信するなどの取組により、更なる周知を図る。

(2) 広域利用促進スタンプラリーの開催

○ 令和 6 年度実績

ガイドブックや広報誌, SNS 等を通じて開催を周知し, 7 月から 1 月末日まで公の施設の広域利用促進スタンプラリーを実施した。

○ 令和 7 年度以降の計画

上記取組を継続する。

②⑪ 合同就職説明会・相談会開催事業

(令和 6 年度決算額 6,129 千円, 令和 7 年度予算額 5,130 千円)

(1) オンライン合同企業説明会の開催

○ 令和 6 年度実績

オンライン合同就職説明会を開催し, 県域内の 67 事業所, 学生 35 名が参加した。

○ 令和 7 年度以降の計画

合同就職説明会を開催し, 県域の事業者と学生のマッチングを図り, U J I ターンを促進する。

(2) いばらき県央地域企業紹介 WEB サイトの運営

○ 令和 6 年度実績

特設 WEB サイト「いばらき県央企業ガイド」を新たに作成し、県央地域の事業者情報を発信した。

○ 令和 7 年度以降の計画

掲載事業者の募集を継続するなど、「いばらき県央企業ガイド」を効果的に運用し、県央地域の事業者情報を発信することで、U J I ターンを促進する。



②② 災害対策連携事業

(令和 6 年度決算額 0 千円, 令和 7 年度予算額 0 千円)

○ 令和 6 年度実績

- ・ 休日・夜間を含む防災担当者名簿の共有
- ・ 物資・資機材の備蓄状況一覧の共有
- ・ 担当者連絡会議の実施
- ・ 水戸市における臨時災害放送の実験局について見学受入れ

○ 令和 7 年度以降の計画

連絡体制の構築や情報共有を行い、災害時の迅速かつ円滑な相互応援体制づくりに努める。

②③ 温室効果ガス排出削減啓発事業

(令和 6 年度決算額 428 千円, 令和 7 年度予算額 650 千円)

○ 令和 6 年度実績

10 月～11 月にかけて省エネ等に心がけた生活を実施し、電気量の削減に取り組む C O 2 削減エコライフチャレンジを実施した。連携市町村で 1,321 世帯の参加があり、1 人当たりの電気使用による C O 2 排出量は、前回同時期と比べ減少した。

○ 令和7年度以降の計画

開催時期を11月～12月とし、同様の取組を実施する。

②④ 環境啓発イベント相互参加促進事業

(令和6年度決算額 169千円, 令和7年度予算額 0千円)

(1) ガイドブック作成

○ 令和6年度実績

令和6年度版「いばらき県央地域連携中枢都市圏環境活動ガイドブック」を作成し、連携市町村で配布を行った。

○ 令和7年度以降の計画

環境活動ガイドブックを隔年で作成し、配布する。

(2) ホームページ等による周知

○ 令和6年度実績

環境啓発イベント、環境保全活動、環境学習会等について、ホームページへの記事掲載により情報を広く発信した。

○ 令和7年度以降の計画

ホームページ等への記事掲載を継続する。

(3) EARTH HOUR への参加

○ 令和6年度実績

連携中枢都市圏として、EARTH HOUR 2024に参加した（広域での参加は全国初）。

○ 令和7年度以降の計画

EARTH HOUR への参加を継続する。

②⑤ 公共交通の維持・確保事業

(令和6年度決算額 21,591千円, 令和7年度予算額 25,038千円)

(1) 地域公共交通の域外運行

○ 令和6年度実績

水戸市「水都（すいっと）タクシー」と那珂市「ひまわりタクシー」による2市間相互乗入を継続した。

○ 令和7年度以降の計画

上記取組を継続する。

(2) 各市町村間の拠点を結ぶバス路線の維持・拡充

○ 令和6年度実績

- ・ 水戸市と城里町を結ぶ路線バス「石塚・赤塚線」の運行を支援した。
- ・ 水戸市と城里町を結ぶ路線バス「石塚・内原線」の運行支援を開始した。

○ 令和7年度以降の計画

「石塚・赤塚線」及び「石塚・内原線」の運行継続

②6 移住・定住促進事業

(令和6年度決算額 9,821千円, 令和7年度予算額 10,000千円)

(1) 移住先の選択肢の一つとして圏域の情報を多くの対象者にPRする広報事業

○ 令和6年度実績

特になし

○ 令和7年度以降の計画

「移住への意識の有無に関わらず、県央の暮らしをどれだけ多くの人に知ってもらえるか」よりも「地方での暮らしに興味がある方や、移住を検討している方等の移住への意識が高い方に対し、しっかりと県央の暮らしの魅力を伝えることができるか」を優先することとし、構成市町村と協議の上決定していく。

(2) 魅力ある圏域の暮らしを分かりやすく伝える媒体制作事業

○ 令和6年度実績

HP「#いばらきどまんなかライフ」運用・保守管理

ホームページ閲覧数：12,147

PV※計測期間：2024年4月1日～2025年3月31日

○ 令和7年度以降の計画

県央地域の暮らしの情報ははじめ、各市町村の移住関係情報や協議会のイベント情報等を発信するため、移住・定住に係る情報発信の基盤として、引き続き、「#いばらきどまんなかライフ」を運用することとし、保守管理に必要な業務を事業者へ委託する。

あわせて、令和7年度については、これまでの事業で蓄積された県央地域の暮らしを紹介する記事等をまとめて発信するためのページを新たに制作することを予定している。

(3) 圏域に興味を持った方が参加できる移住体験事業

○ 令和6年度実績

- ・ 「いばらき県央ふるさとワーキングホリデー2024」開催
参加者数：7名 ※開催日程：令和6年9月2日～15日（14日間）
- ・ 「東京交通会館マルシェ」出店
参加者数：12名（うち5名は令和5年度の同事業参加者）
売上金額：64,530円 ※参加者の交通費として還元
- ・ 「ふるさとワーホリ通信」記事制作及びHP掲載
記事数：8記事 ※掲載場所：＃いばらきどまんなかライフ

○ 令和7年度以降の計画

令和7年度については、「具体的取組⑤いばらき県央学生定住・UJ ターン促進プロジェクト」を優先的に推進することとし、本取組は休止する。



(4) 移住フェア等への合同出展による移住相談事業

○ 令和6年度実績

「第20回ふるさと回帰フェア2024」出展

移住相談延べ件数：62組 92名 ※開催日程：令和6年9月21・22日

○ 令和7年度以降の計画

移住への関心が高い来場者が多いことが見込まれる「ふるさと回帰フェア」に出展する。また、令和6年度は2日間の開催日程のうち、各市町村（水戸市を除く）いずれか1日の出展としていたが、出展ブースを倍増し、すべての市町村が2日間出展することとする。



(5) いばらき県央学生定住・UJ ターン促進プロジェクト

○ 令和6年度実績

- ・ 大学生向け定住・UJ ターン促進イベント「さがす いばらき」開催
事前説明会（計3回）参加者数：累計 28名

プログラム（計 8 回）参加者数：累計 36 名（うちユニーク数：23 名）

- ・ 「さがす いばらき」活動報告冊子「いばらき県央地域ライフデザインブック」制作・配布

制作部数：3,000 部

主な配布先：茨城大学，常磐大学，茨城キリスト教大学，都内大学，水戸育成会学生寮，その他構成市町村が関係する大学や大学生等

○ 令和 7 年度以降の計画

令和 7 年度については，以下の①～③の事業を実施する。

- ①茨城大学・常磐大学における圏域の暮らしを伝える講義の実現に向けた協議
- ②いばらき県央地域商工振興協議会と連携した圏域の仕事と暮らし発信事業の検討
- ③「さがす いばらきチャンネル（仮称）」の開設



②⑦ 地域おこし協力隊活動の活性化と広域展開事業

（令和 6 年度決算額 0 千円，令和 7 年度予算額 400 千円）

○ 令和 6 年度実績

茨城県央地域の地域おこし協力隊員の活動内容及び連携事業のニーズ調査を実施した。

○ 令和 7 年度以降の計画

ニーズ調査の結果報告会や協力隊員同士の意見交換会を開催する。

②⑧ 婚活支援事業

（令和 6 年度決算額 1,937 千円，令和 7 年度予算額 2,000 千円）

○ 令和 6 年度実績

交流型（対面方式）のマッチングイベントの開催

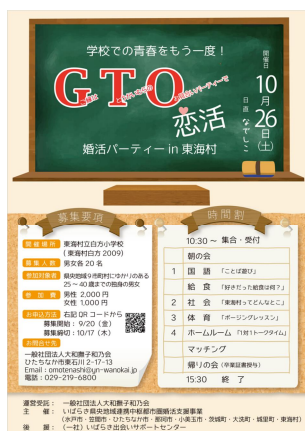
10 月 26 日（土）東海村 参加者：男性 19 名 女性 9 名， マッチング者数 11 名

12 月 7 日（土）那珂市 参加者：男性 20 名 女性 14 名， マッチング者数 12 名

2 月 15 日（土）水戸市 参加者：男性 20 名 女性 20 名， マッチング者数 23 名

○ 令和 7 年度以降の計画

構成市町村を会場とした交流型マッチングイベントを各年度 3 回開催する（令和 7 年度 水戸市、小美玉市、茨城町）。



②⑨ 職員人材育成事業

（令和 6 年度決算額 400 千円，令和 7 年度予算額 400 千円）

(1) 合同研修の開催

○ 令和 6 年度実績

インバスケッ ト研修を実施した。

○ 令和 7 年度以降の計画

伝わるデザイン講座を実施予定

(2) 研修の相互参加

○ 令和 6 年度実績

実務能力向上研修，接遇能力向上研修，行政法研修，60 歳職員キャリアデザイン研修等を実施した。

○ 令和 7 年度以降の計画

水戸市主催では実務能力向上研修，接遇能力向上研修，民法基礎研修，60 歳職員キャリアデザイン研修を実施予定。次年度以降も同様の研修を検討していく。

③⑩ SDGs の取組に係る連携事業

（令和 6 年度決算額 573 千円，令和 7 年度予算額 1,000 千円）

(1) 小・中学生等を対象とした SDGs 学習会

○ 令和 6 年度実績

構成市町村の小・中学生の SDG s に対する理解促進を図るため、Pepper を活用しながら、各学校の授業やイベントにおいて SDG s の普及啓発に取り組んだ。

○ 令和 7 年度以降の計画

Pepper の活用実績が着実に増えていることから、Pepper のリース契約を令和 7・8 年度の 2 か年更新し、Pepper を活用した SDGs の普及啓発に取り組む。

(2) 市町村職員等を対象とした SDGs 研修会の開催

○ 令和 6 年度実績

特になし。

○ 令和 7 年度以降の計画

構成市町村の職員を対象とした SDGs 研修会については、令和 5 年度まで取り組んできたことにより、各職員等の知見が深まり、SDGs の推進に向けた基盤づくりができたものと捉え、令和 6 年度以降は実施しない。

(3) SDGs に関する普及啓発活動の推進

○ 令和 6 年度実績

圏域内の住民等に対し、広く SDGs の普及・啓発を図るため、構成市町村が実施するイベント等において、SDGs ブースを出展し、SDGs の普及・啓発を図った。

○ 令和 7 年度以降の計画

令和 7・8 年度も構成市町村のイベント等ブースを出展する。また、令和 7 年度から新たに構成市町村を会場とした SDG s 親子教室を開催することで、圏域全体での SDGs の普及・啓発をより一層図っていく。

※ ビジョンにおける「Ⅲ 生活環境の充実」の成果指標

		ビジョン策定時点 の直近の値	2024(R6)年度末 時点の直近の値	目標値
医師数(別掲)	時点(年)	2018(H30)	2022(R4)	2026(R8)
	値(人)	1,385	1,473	1,470
看護職数	時点(年)	2018(H30)	2022(R4)	2026(R8)
	値(人)	8,601	9,154	8,900
健康づくりに係る社会実験の取組件 数(累計)	時点(年度)	2021(R3)	2024(R6)	2026(R8)
	値(件)	－	5	2
養成講座を修了した成年後見従事 者数	時点(年度)	2020(R2)	2024(R6)	2026(R8)
	値(人)	12	18	21
公の施設の広域利用者数(居住市 町村施設利用者数を除く。)	時点(年度)	2020(R2)	2023(R5)	2026(R8)
	値(人)	193,699	269,907	270,000
合同就職説明会・相談会参加事業 所数	時点(年度)	2021(R3)	2024(R6)	2026(R8)
	値(事業所)	－	67	40
取組を実施する住民1人当たりの電 力使用による二酸化炭素排出量(奇 数年)	時点	2019(R1)年 11 月	2023(R5)年 11 月	2025(R7)年 11 月
	値	51.7kg-CO2	49.7kg-CO2 (3.9%減)	8%削減
取組を実施する住民1人当たりの電 力使用による二酸化炭素排出量(偶 数年)	時点	2020(R2)年 12 月	2024(R6)年 12 月	2026(R8)年 12 月
	値	63.9kg-CO2	55.6kg-CO2 (13.0%減)	8%削減
水戸市を經由する路線バスの1日当 たりの利用者数	時点(年度)	2020(R2)	2023(R5)	2026(R8)
	値(人)	29,862	26,906	35,000
移住・定住に係る市町村への相談件 数	時点(年度)	2020(R2)	2024(R6)	2026(R8)
	値(件)	330	536	600
研修参加者数(合同研修及び相互 参加に限る。)(累計)	時点(年度)	2021(R3)	2024(R6)	2026(R8)
	値(人)	－	337	350
SDGs普及啓発事業への参加者数 (累計)	時点(年度)	2021(R3)	2024(R6)	2026(R8)
	値(人)	－	1,723	1,000